

付着生物ラーバ情報

全湾でユウレイボヤの 大量付着が予想されます

1 ラーバ等の出現状況

ラーバ等の調査地点は図1、出現数は表1、出現数の推移は図2、今春のユウレイボヤ付着量の予測は図3のとおりです。

(1) ユウレイボヤ(通称：ハナ、ゴダゴダ)

ラーバは3月10日に奥内沖で4.2個体/m³、久栗坂沖で6.7個体/m³、3月18日に奥内沖で1.7個体/m³、川内沖で0.8個体/m³、3月24日に奥内沖で0.8個体/m³、久栗坂沖で2.8個体/m³見られました（表1、図2）。

(2) キヌマトイガイ（通称：コメガキ）

ラーバは3月10日に奥内沖で4.2個体/m³、久栗坂沖で22.8個体/m³、3月11日に野辺地沖で3.0個体/m³、3月18日に奥内沖で6.7個体/m³、久栗坂沖で5.6個体/m³、野辺地沖で148.4個体/m³、川内沖で21.1個体/m³、3月24日に奥内沖で8.3個体/m³、久栗坂沖で3.9個体/m³、野辺地沖で22.7個体/m³見られました（表1）。

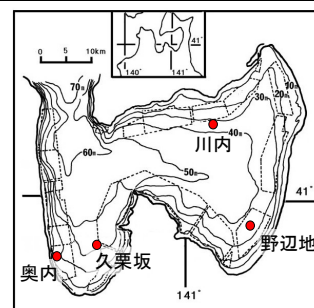


図1 付着生物ラーバの調査地点

表1 ラーバ等の出現状況		単位:個体/m ³		
調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	キヌマトイガイ	ムラサキイガイ
奥内沖	R7.3.10	4.2	4.2	25.0
	R7.3.18	1.7	6.7	58.3
	R7.3.24	0.8	8.3	72.5
久栗坂沖	R7.3.10	6.7	22.8	22.8
	R7.3.18	0.0	5.6	80.0
	R7.3.24	2.8	3.9	53.3
野辺地沖	R7.3.11	0.0	3.0	18.8
	R7.3.18	0.0	148.4	32.0
	R7.3.24	0.0	22.7	18.8
川内沖	R7.3.18	0.8	21.1	28.9

※久栗坂沖、川内沖は実験漁場内

2 今後の見込み

陸奥湾内の中層水温は西湾で8℃前後、東湾で7℃前後です。

(1) ユウレイボヤ

10月以降のラーバ累積出現数は、奥内沖で63.4個体/m³、久栗坂沖で32.5個体/m³、野辺地沖で17.2個体/m³、川内沖で7.0個体/m³と付着数が多くなる目安である5.0個体/m³より多い状況です。

全湾でラーバ累積出現数が増加しており、分散済みのパールネットにユウレイボヤが大量に付着しているとの情報が提供されています。10月以降のラーバ累積出現数と12月から翌年3月の平均水温、4月のネット1連の付着量の関係図（図3）から、今春は昨年以上の大量付着が予想されることから、出荷作業効率が低下すると考えられます。

(2) キヌマトイガイ

ラーバが継続して出現していることから、簗や耳吊り、マボヤ採苗器へ大量付着する可能性があります。

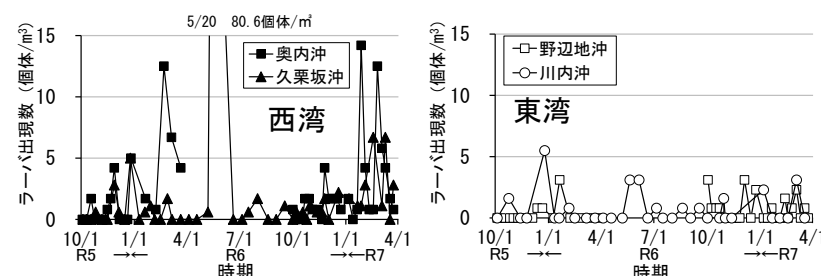


図2 ユウレイボヤ出現数の推移（令和5年10月～令和7年3月）
・平成25年の観察開始から令和5年までの最大値：西湾25個体/m³、東湾10個体/m³

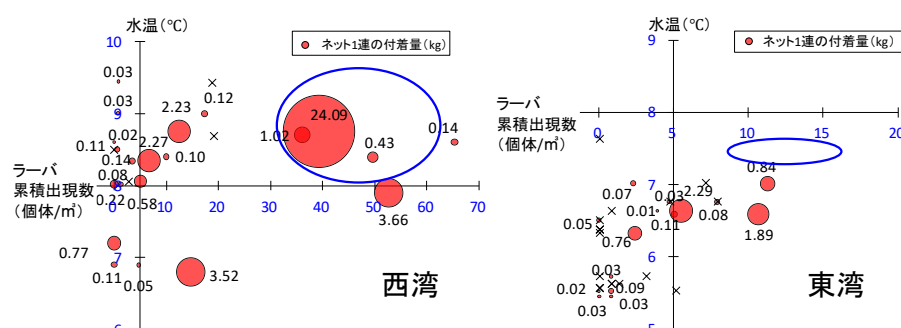


図3 ユウレイボヤのラーバ累積出現数、青森ブイ15m層（奥内ブイ20m層を含む）、東湾ブイ15m層の12月～翌年3月の平均水温とネット1連の付着量の関係

3 お知らせ

今期の付着生物ラーバ情報は今回で終了です。今後のキヌマトイガイ、ムラサキイガイラーバの出現動向については、ホタテガイ採苗速報を参考にしてください。

